

授業科目名・形態	産業保健活動論 講義	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	藤田 碧・大津智子	実務経験の有無	有	開講期	4年前期

【授業の主題】

産業保健分野における保健活動の歴史的な変遷や現在の施策および動向を理解する。また、産業保健における健康課題と労働安全衛生体制を理解し、看護職（保健師・看護師）の役割と活動内容を理解する。さらに、職場の健康づくり活動や地域保健との連携を学ぶ。

【到達目標】

1. 産業保健活動の歴史的変遷、現在の動向や施策を理解できる。
2. 産業保健における健康課題と労働安全衛生体制を理解できる。
3. 産業保健活動における看護職（保健師・看護師）の活動を理解できる。
4. 職場の健康づくり活動と地域保健活動の連携を理解できる。

【授業計画・内容】

- 第 1 回 産業保健・看護の概念、産業保健・看護の歴史と現在の動向（藤田）
- 第 2 回 産業保健の制度と仕組みⅠ（藤田）
- 第 3 回 産業保健の制度と仕組みⅡ（藤田）
- 第 4 回 産業保健における健康課題の対策と支援
- 第 5 回 産業保健における看護職の役割と活動（大津）
- 第 6 回 産業保健における健康課題と対策の実際（大津）
- 第 7 回 産業保健活動の実際（大館市内の事業所担当職員）
- 第 8 回 産業保健活動の全体像について統括（藤田）

【授業実施方法】

講義

【授業準備】

教科書を読んで講義に臨み、講義後は学修内容を復習する

【主な関連する科目】

「公衆衛生学」「成人保健活動論」「公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱ」など公衆衛生看護学の科目

【教科書等】

荒賀 直子・後閑 容子 編 「公衆衛生看護学.jp 第5版」インターメディカル出版、2020
厚生統計協会編「国民衛生の動向 2021/2022年」2020年、2021.

【参考文献】

荒木田美香子ほか：公衆衛生看護学テキスト第4巻 公衆衛生看護活動Ⅱ 2022年版学校保健・産業保健、2022
山口千恵美ほか：勤労者医療概論，労働者健康安全機構，2021
<https://www.johas.go.jp/kiko/shuppan/tabid/1127/Default.aspx> から DL できます。

【成績評価方法】

受講態度等（5%）、提出課題（15%）、定期試験の成績（80%）による総合評価

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

行政保健師として地域保健を経験。ほか、委託による事業所・家庭を訪問しての特定保健指導・健診関連業務、施設等の職員向けメンタルヘルズ講座等を実施した経験をもとに、個人の生涯の健康と従業員・事業所全体の健康を共に実現する支援や公衆衛生看護の在り方を伝えともに考える有意義な授業を目指します。

【学生へのメッセージ】

3年生までの関連科目を復習して、授業に臨みましょう。みなさん自身が、卒後は健康を保ちながら働くための支援の受け手にもなり、また資格の特性上、提供する側にもなりうることを自覚して多様な働き方と健康の両立を考えながら授業や課題に臨んでください。